

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会  
「平成 21 年度 第 2 回 議事録」

日時	平成 21 年 7 月 24 日 (金) 10:00 ~ 17:15		場所	地盤工学会会議室	
委員長	後藤 聡		幹事	豊田 浩史	
幹事	川崎 了		委員	別木 孝	午前中
委員	小橋 秀俊	×	委員(WG1)	杉井 俊夫	
委員(WG1)	細野 高康		委員(WG2)	川口 正人	
委員(WG2)	太田 岳洋	×	委員(WG3)	渡部 要一	
委員(WG3)	山本 肇	×	委員(WG4)	仙頭 紀明	
委員(WG4)	畠山 正則		委員(WG4)	上原 真一	
委員(WG5)	横田 聖哉 (中島 伸一郎)		委員(WG6)	平井 貴雄	
委員(WG8)	石川 達也				

:出席 :代理出席 ×:欠席  
議事録担当:豊田浩史

配布資料:

資料番号なし:平成 21 年度第 1 回室内試験規格・基準委員会議題書

資料 21-2-1(1):WG1 初稿校正メモ

資料 21-2-1(3):WG3 初稿校正と著作権許諾状況メモ

資料 21-2-1(4)a:規格・基準本文中で大幅な書式の校正が必要と考えられる箇所について

資料 21-2-1(4)b:基準本文の変更 2 注記 JGS\_0541\_土の繰返し非排水三軸試験方法

資料 21-2-1(4)c:基準本文の変更 2 注記 JGS\_0551\_土の中空円筒供試体によるねじりせん断試験

資料 21-2-1(5):WG5 安定化試験 報告

資料 21-2-1(6):WG6 進捗状況

資料 21-2-1(8):WG8 執筆状況メモ

資料 21-2-2:学会基準で用いる JIS

資料 21-2-3:基準部会(6/15 開催)議事録

資料 21-2-4(4):WG4 の活動報告

資料 21-2-4(9):ベンダーエレメント試験に関する文献調査 報告書

資料 21-2-4(12):WG12 平成 21 年度第 1 回 WG 議事録

資料 21-2-5:予算の執行状況

議 題:

【審議事項】

1) 初稿の校正状況について

WG1: 赤本解説においては、JISの漢字使いとJGSの漢字使いが混在してしまうが、許容する。この書式の違いについては、今後検討していく必要がある。JISではJGSより注記が修正されているが、JGSについては、誤植や表記等の修正以外は原則変更無しとする(理事会で承認されたJGSとする)。JIS改正作業と赤本改正作業の並行作業の問題点が指摘された。JISとJGSのダブルスタンダードの必要性についても今後議論していく必要がある。

WG2: 初稿校正については終了した。日付等は、付録の改正の経緯を参考に記入する。

WG3: 圧密については校正終了。透水は初稿の完成が遅れている。

WG4: フォントおよび書き出し位置の統一案が提出された。これを参考に、事務局より一括して印刷会社に修正依頼することとした。JGSの修正案(2件)が出され、内容の修正ではなく、誤植および表記の修正の範囲に入っていると判断し、修正を認めることとした。

WG5: 初稿の校正は終了した。薬液注入工法の暫定指針の掲載に関する案が提出され、「ppmはmg/Lと読みかえる」という文言を追記することとした。

WG6: 初稿の校正は終了した。

WG8: 初稿校正は、7/15に事務局に送付済み。WG1との整合性について調整中である。文章中でわかりやすく説明したり、引用文献を修正することで対応する予定である。

2) 著作権の許諾状況について

著作権の許諾については、地盤工学会の書籍については必要ない。個人から許諾を取るとき、口頭での確認でもよい。現在の赤本に掲載されている図については、新規本なので、再度許諾が必要となる。ただし、赤本のために作成された図については必要ない。8月末までに終了させる。

WG1: 一割程度終わっている。原本の図面を集める作業を行う。

WG2: 一割程度終わっている。特段問題点はない。

WG3: これからはじめるが、全国大会時にも集めることができそうで、問題はないであろう。

WG4: リストは作成した。原本の図面を集めている。土関係はかなり絞れるが、岩関係は海外の文献など大変そうである。

WG5: ほとんどそろっている。

WG6: 必要なものが少なく、ほとんどそろっている。

WG8: 六割程度できている。原本の図面を集める作業を行っている。

3) データシート記入例について

事務局が、6000番台を付けて初稿を戻す。初稿においては、データシート記入例が目次に入っていないが、現行の赤本通り、目次に入れるようにする(事務局で対応)。日付は、8月もしくは9月とし、実際に試験を行うことができる(つじつまが合う)日付とする。試験者については実名を用いない。これらの作業は再校時に行う。

4) 索引について

再校時に、索引用語については蛍光ペン(色は自由)でマーキングする。現在の赤本の索引用語を参考に作業を行う。

5)付録「学会基準で用いる JIS 」について

一覧表や JIS 規格本文は掲載しないこととする。JIS や ISO の情報が載っているホームページを、第 1 編第 1 章で紹介するようにする。

6)再校の校正方法について

原稿の pdf ファイルをダウンロードできるようにするので、初稿の校正が間違いなく行われているか確認すると同時に、他編の引用についても問題ないか確認する。索引用語については、蛍光ペンでマーキングする。

7)三校の校正方法について

各 WG において、WG 幹事 + グループリーダー + 数名で最終確認を行う。委員会幹事は、全体を通して(図の体裁などが)問題ないか確認する。9/24 に委員会を開催し、最終確認を取る。

8)原稿執筆料および調整料について

原稿執筆料については、当初より支払わないという方針を決め、執筆者の理解を得て作業を進めてきており、執筆作業はすでに終了している。他の部会より支払うべきという意見もあるが、本委員会においては、当初の方針を変える必要はないと判断した。調整料については、ページ数で分けることが難しいので、均等割とする。

9)今後のスケジュールの確認

図面の質が悪いという指摘があった。図面の修正には時間がかかり、再校と三校の間に完成する予定である。7/27 に初稿校正を印刷会社に戻す(WG8 はすでに終了、透水と第 1 編の一部は少し遅れる)。8/11 に再校を受け取る(図の修正が終わっていないところにはコメント付き)。8/24 午前中までに校正した再校原稿を事務局へ送付。9/10 に三校を受け取る。各 WG で校正後、9/24 開催の委員会において調整を行う。後付には、10 月末日発行となるように、作業が遅れないようにする。

10)その他

付録の JGS 集について、WG1 と WG2 のみ校正が終わっている。他の WG も至急校正結果を事務局に提出する。

【報告事項】

1)JISC 土木技術専門委員会の対応について

現在、土木技術専門委員会と最終確認中である。

2)基準部会(6/15 開催)報告

6/15 に開催された基準部会の報告が行われた。その主な内容は、今回の土木技術専門委

員会の意見を受け、表記法委員会が用語の JIS 規格作成に向けた検討を開始したこと、青本では CBR 試験で用いる用語の「荷重強さ」を「載荷圧力」に変更すること、などであった。

3) 室内試験規格・基準委員会幹事会(6/23 開催) 報告

6/23 に土木技術専門委員会对応のために、幹事会が開催されたことが報告された。

4) 「地盤材料試験の方法と解説」講習会について

本部講習会は、すでに案を送付してあるとおり、今年の12月10日、11日に行う予定であることが報告された。

5) 各 WG の活動報告

以下の WG から、その後の活動報告が行われた。

WG9: 学術論文を対象とした文献調査を実施し、取りまとめが終了したこと、会員に対して2段階に分けたアンケート調査を電子メールで実施中であること、などが報告された。なお、今年度が活動期間の最終年度であるため、次回9月の委員会において来年度の基準化 WG の新設に関する可否について報告していただくことになった。

WG10: 書籍「土質試験 - 基本と手引き -」については、2010年1月の出版を予定しているが、赤本改訂版の内容が固まってから執筆編集作業を進めるとの報告があった。このため、作業の進捗状況について、後藤委員長が安川 WG グループリーダーまで問い合わせることになった。(担当: 後藤委員長)

WG12: 今年度から新規に設置された WG であり、6/29(月)に第1回 WG 会議が開催された旨の報告があった。今年度末を目途に、基準化 WG の新設の可否について方向性を示す予定である。

6) その他

次回の委員会は、9/24(木)10:30~17:00に地盤工学会で開催する。主な議題は、三校の校正結果を踏まえた全体調整、「土質試験 - 基本と手引き -」の進捗状況の確認、来年度の新規 WG および委員会メンバー、などである。

以上